

令和2年度 決算

議会が チエック

市は予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチエックします。

決算審査では、前年度の予算の使い方が適切かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点を指摘し今後の予算や事業計画への要望を伝えます。

三島市議会では、総務、福祉教育、経済建設の各常任委員会で計6日間にわたり審査を行い、9月定例会の最終日に各委員長が報告を行いました。その後、賛成・反対の討論を行い、賛成多数で「認定」しました。

本会議での委員長報告や討論の様子は市議会ホームページで映像を見ることができ、ぜひご覧ください。



【決算の概要】

■歳入歳出収支は12億296万円の黒字となりました。

令和2年度決算における4つの健全化判断比率が報告されました。三島市は全ての指標で国の基準を大きく下回り、**財政状況が健全**であることが示されました。

◎一般会計決算

収入	支出
514億2,115万円	502億1,819万円

◎特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	110億6,183万円	109億2,221万円
介護保険	81億3,875万円	80億9,788万円
後期高齢者医療	14億8,939万円	14億8,524万円
墓園事業	1,829万円	539万円
駐車場事業	24億7,223万円	24億6,572万円
合計	231億8,049万円	229億7,644万円

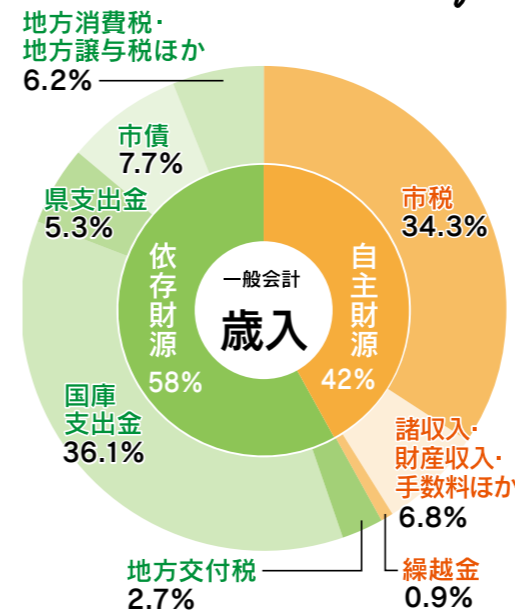
◎公営企業会計決算（水道事業会計）

区分	収入	支出
収益的収支	15億7,102万円	12億8,097万円
資本的収支	2億4,506万円	7億3,919万円

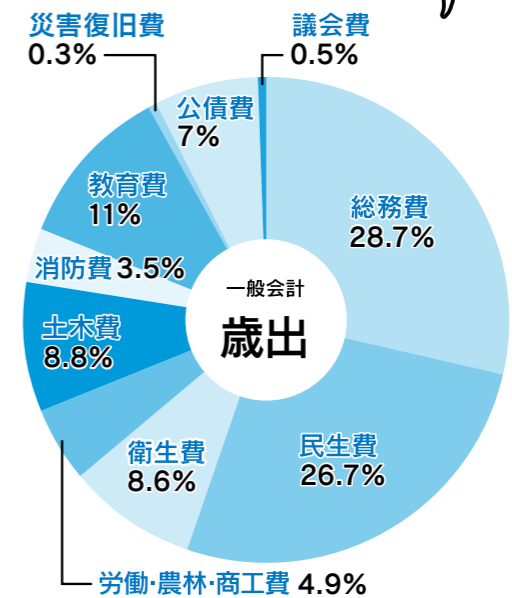
◎公営企業会計決算（下水道事業会計）

区分	収入	支出
収益的収支	22億7,135万円	22億6,289万円
資本的収支	12億9,465万円	20億649万円

514億2,115万2,647円



502億1,819万1,771円



将来負担比率は、市債残高の増加などにより悪化しました。

- ※1 一般会計等を対象とした赤字の割合
- ※2 全会計を対象とした赤字の割合
- ※3 収入に対する借金返済額の割合
- ※4 将来に負担が見込まれる負債の割合

	実質赤字 比率※1	連結実質赤字 比率※2	実質公債費 比率※3	将来負担 比率※4
三島市				
平成30年度	-	-	5.6	10.6
令和元年度	-	-	5.2	19.4
令和2年度	-	-	5.3	29.2
早期健全化基準	12.33	17.33	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、三島市は赤字が生じていないため「-」の表示となります。



令和2年度決算と

9月定例会の流れ

令和2年度事業終了

出納整理期間

3月で会計年度は終わりますが、光熱費などが4月1日以降に請求されるため、前年度の支払い等の整理期間があります。

決算書の作成

監査委員による決算審査
監査委員が決算書や付属資料をもとに審査を行い、意見書を作成します。

9月定例会

○本会議

議案審議 P6~7

議案や令和2年度決算に対する提案説明を行う

○委員会

決算審査 P4~5
3つの常任委員会ですら管する各分野を専門的に審査する

○本会議

一般質問 P9~14

○本会議

議案審議 P6~7

決算審査

委員長報告・委員会での審査経過や結果を報告
討論・採決前に賛成・反対意見を表明
採決

